



津奈木

発行所
津奈木公民館
芦北郡津奈木町
電話(78)3111代
印刷所 旭印刷
電話(水俣)4101番

さて、本町の現在の阿蘇神社は、染竹上原の今の町営住宅のある所から、昭和四十二年、遷宮なされたもので、なんでも、重盤岩一帯の公園化のためだと記憶している。本町の阿蘇神社の創建は定かではないが、天正年間一度兵火にあい、上原に再建されたのは、寛政四年と記されている。

ところで、お宮から、祭を忘れることはできない。祭といつても奉納行事について、思い起してみよう。

阿蘇神社 大祭の思い出

さて、本町の現在の阿蘇神社は、染竹上原の今の町営住宅のある所から、昭和四十二年、遷宮なされたもので、なんでも、重盤岩一帯の公園化のためだと記憶している。本町の阿蘇神社の創建は定かではないが、天正年間一度兵火にあい、上原に再建されたのは、寛政四年と記されている。

余談になるが、一の宮阿蘇神社は、県内の宮のうちで、最も古い創立で、孝靈天皇の九年(八一八二)速瓶玉命に勅して創建せられ、景行天皇の十八年、惟人命が勅を受けて祭祀を任せ、杜家の祖となつたという。従って、景行天皇の御代からでも、千九百年に近いと言えよう。

神楽正面に相撲場がある。その相撲場をとりかこむように、棧敷席がある。広さはまちまちだが、一坪位のものもあれば、三、四坪位の棧敷まで。その個々の棧敷席を杉の葉と竹を組合せて、かこいをし、隣の席とを区切り、そのなかで、家族、或は、近くの町村から呼んだ親戚の者たちが、酒をくみ交しながら、相撲を見物。なかには、大声をあげて、ひいき力士を応援している。酒を飲まない、女子供達は、自宅から用意してきた弁当、おやつをほおばっている。相撲の終る頃には、酒の勢も加わって、けんかまで始まる。一方、棧敷の外では、すき間なく並んだ

大いに成行きが注目された湾岸戦争も、多国軍の勝利に終りほつとしていくところであるが、しばしば時を同じくして北朝鮮との日朝国交正常化交渉のニュースが伝えられ、日本の近くで最も遠い国への旅行も近いうちに出来るのではと期待を抱いていた。しかし、交渉は遅々として進まず、少々がっかりしている今日この頃である。

湾岸戦争と北朝鮮との外交交渉を一緒に採り上げたのは、筆者が少年時代に体験した太平洋戦争の模様が走馬灯の如く脳裏に浮かんでくるからである。北朝鮮で終戦(敗戦)を迎え、ソ連軍の進駐、毎晩のごく行われた暴行や略奪、そして伝染病の流行、物資の欠乏等敗戦国民の悲哀をいやというほど味わったものには、前述した二つの出来事が何となく縁めて映るのである。

一言

今年もまた、五月五日の日がやって来るが、戦争体験の大人としての世代を担う子供たちのためにも、絶対に戦争に関与してはならないことを痛切に願うものである。そして、子供たちが現在の日本の平和とゆたかさを享受し、心身ともにたくましく、すこやかに育つてゆくよう、情熱と愛情を注ぎながら見守つてゆきたいものである。

本年度の町民体育祭 実施計画決まる

町民の体力つくりと競技力向上を目指す町体育協会、評議員会が四月十日B&G体育館のミーティングルームで開かれ、昨年の事業と、決算を承認し、今年の事業と予算を協議検討された結果、左記のとおり本年度町民体育祭の実施要項が決定いたしました。

保険で安心 スポーツ傷害保険

現在、加入されているスポーツ保険は、3月31日をもって有効期限が切れました。4月1日から新規加入しなければなりません。※早目に手続きを済ませましょう。保険の手続き等の詳細については、町教委までお問い合わせ下さい。

平成3年度 町民体育祭日程表

町民体育祭5種目の日程が津奈木町体育協会評議員会において下表のとおり決定しました。
町民皆スポーツ運動にご参加下さい。

大会名	期日	会場
男子ソフトボール大会	5月12日(日)	総合グラウンド
女子ミニバレーボール大会		B&G体育館
野球大会	8月13日(火) 14日(水)	総合グラウンド
競舟大会	8月15日(木)	大泊漁港
陸上競技大会	10月10日(木)	総合グラウンド

町誌編集室から

ペリー来航と津奈木海岸防衛
「嘉永七甲寅年二月異国船渡来一卷」(六車二二七)と題された、津奈木海岸防衛の実態と長州征伐従軍心得についての記録がある。筆者は斎藤徳左衛門と共に津奈木引廻役に任じられていた六車昌章(和八郎)である。
嘉永六癸丑年(一八五三)六月浦賀表其外所々へ異国船渡来については、追々御達これあり候へども、控え方略す。
嘉永六年はアメリカの東インド艦隊司令官ペリーによって、鎖国

春の文化祭

エビネ展覧会

四月十三日、十四日の二日間、津奈木町中央公民館にて春の文化祭、エビネ展覧会が行われた。



会場には二十三名のエビネ愛好家が丹精込めて育てあげた百六十鉢が展示され、訪れた人々は会場一杯に漂う甘い香りの中で一つ一つ熱心に見てまわり作品の美しさを味わっていた。
入賞者は次の通り。
◇登録品▽金賞 篠原純一(光淋) 山本正男(神紫晃)
▽銀賞 山本重人(薩摩紅)
坂本有徳(鳳凰)
◇無名▽金賞 寺岡栄助 村上忠雄 山内國義
▽銀賞 山口敦 鶴野富人 原野勝義 中村段重 古杉一郁

編集後記

▼青葉が目にしみ薫風香る季節、端午の鯉のぼりが勢よく空に乱舞しています。新年度がスタートしたばかり、どこも生気が見られます。本年度も皆様に愛され親まれる館報づくりに努力して参りますので、よろしくお願ひします。
▼今回の異動で各学校、先生方の陣容が整いました。学校、家庭、社会の三者が一体となり二十一世紀を背負って立つ健全なる青少年の育成につとめたいものです。

志統一を図っておく必要があったからである。

そして、次の五項目について各人の腹藏のない率直な意見を求めた。

一、この難局を乗り切るための各自の覚悟の程を聞かせて欲しい。
一、割当られた持ち場或は戦いのため他の場所へ出向くなどの際、各自の受け入れ態勢はどうか。
一、武器は用意できるか。
一、万一の時、他の場所へ出向いた後、留守中の取締りなど何であるか。
一、万一津奈木へ異国船が渡

来したとき、防衛対策について腹案があれば申出てもらいたい。

衛藤三郎左衛門は、この日全員を前にして、次のように要望した。海岸防衛は大筒が主要な武器となる。この取扱は、抱打ちが台架に託して打つか二つの方法があるけれども、急場に間に合わせるためには周到な準備が必要である。勿論皆さんは日頃から稽古しておられるとはいっても、戦いになると、薬込めなどかなりきついと聞いている。
数発抱え打ちすれば、取り落としたりして、砲身の取付け金具の損傷も予想される。従って台打ちの方がいいのではないかと考えるが、この点に就いて皆さんの意見をまとめて欲しい、と。

町内各小中学校

私たちの先生方

津奈木小学校



祝平成三年度入学

- 前例右より
- 柳迫マサ子さん 庁務 六年一組
 - 江口ヒロ子先生 六年一組
 - 内田美奈子先生 二年二組
 - 白石 智子先生 四年二組
 - 多田限幸代先生 一年一組
 - 松村 誠也先生 教頭
 - 元山 正昭先生 校長
 - 早川美津恵先生 養護
 - 菅原 節子先生 すみれ学級
 - 一川 清美先生 五年二組
 - 前田起代子先生 三年一組
 - 森 道子先生 栄養士
- 後列右より
- 村本 健二先生 教務主任
 - 村田十五郎先生 理科専科
 - 水本 幸三先生 六年二組
 - 三浦 浩先生 五年一組
 - 寺川 芳夫先生 四年一組
 - 農頭 昭勝先生 事務
 - 永里 達也先生 三年二組
 - 田副 稔先生 二年一組

赤崎小学校



赤崎小学校校長 栗塚 岩 雄

児童、地域のために努力を

この度の定期異動により、田浦町立井牟田小から古巣、赤崎小へ帰ってまいりました。二年前、四年間お世話になっていましたので、大変懐かしい思いでいっぱいです。二年前と少しも変わらぬ地域の方々の温かさを大変嬉しく思っています。



- 前例右より
- 上村 秀樹先生 教務
 - 遠山 隆先生 教頭
 - 栗塚 岩雄先生 校長
 - 平田 栄二先生 六年
 - 高鷹 昭治先生 三年
- 後列右より
- 辻 道さん 庁務
 - 田中 文子先生 養護
 - 松崎佐和子先生 二年
 - 前田 成美先生 一年
 - 瀧山 由美先生 事務
 - 前坂 理香先生 四年
 - 宮内 繁美先生 五年

赤崎小学校紹介

昭和五十一年、不知火海上に建てられた日本唯一の洋上学校です。廊下からは、泳いでいる魚やゆれ動く海草を見ることが出来ます。三名の転入生があり、複式学級をまねがれることができました。児童数七十六名、職員十二名が楽しく学んでいます。「海の幸」「山の幸」に恵まれ、校舎内外には生花や絵等で感性を高めるための環境づくりがなされています。

学校創意の時間には、磯に出てビナ拾いやカキ打ちなどをして全児童が楽しんでます。

今年は、職員も若くなりました。基礎学力向上のため、全職員ががんばります。

津奈木小学校紹介

児童数二六九名、昨年より十五名の減少で、新一年生は四十名の一組となりました。職員数一名減で二十名となりました。

昨年は、施設・環境の充実整備に力を入れて来ましたが、町当局

やPTA等のご協力で、大きな成果をみる事ができましたので、本年は特に「学力の充実」を中心に据えた、基本的生活習慣の確立に全力を挙げて取り組むことに致します。

「かしこく」やさしく「たくましく」の校訓の下に、知力の向上とともに体力・情神力の一段の向上充実を期して、学校とPTA、地域社会一体となった活力に満ちた教育活動を展開したいと思っております。

また、花と緑を育てて、地域に愛される、開かれた学校としての備えにも力を入れます。

平国小学校



- 前例右より
- 橋口 敬介先生 五年
 - 徳富久美子先生 養護
 - 後藤 義治先生 校長
 - 前田 利雄先生 教頭
 - 新立利恵子先生 一年
 - 宇田美佐子先生 二年
- 後列右より
- 山本 哲朗先生 教務
 - 橋本 慎也先生 三年
 - 原 輝智先生 六年
 - 山下 幸子先生 四年
 - 鬼塚 昭子先生 事務
 - 村上 昭子先生 庁務

平国小学校紹介

児童数九三名、職員数十二名。本年度も、昨年度に引き続き、「文部省指定の勤労生産学習」「社会福祉協議会委嘱のボランティア活動普及事業」を推進します。



津奈木中学校教頭 嵩 本山

この度の異動で、鏡中学校から再び津奈木中学校に転任して参りました。

夢の実現に向かって

二年間の間に学校も町内も一段と整備されています。緑と彫刻のある町のシンボルタワー「とき」の翔も完成しました。



赤崎小学校校長 前山 益 生

退任 あいさつ

四月より田浦小学校に行くことになり、津奈木町には短い二年間でしたが、公私共大変お世話になりました。ありがとうございました。皆様のお礼申し上げます。二年でも勤めさせてもらったこと

も整備されてきました。

津奈木中学校紹介

本年は、一年生がクラスと津南学級一クラスが増加したので全部で八クラスになり、職員も昨年より三名増え、十七名、それに非常勤講師一名が入り、合計十八名のスタートとなりました。

今、津奈木中学校は活気に満ちております。重盤岩の伝統の下に、親の願い、地域の要望にこたえ得る教育をめざし「腰骨を立てよ」をモットーにして「自律、敬愛、強健」の校訓のもと「尊師愛生」の心に勉めています。緑と彫刻のあ

津奈木中学校



- 前例右より
- 藤門 幸枝先生 三年二組
 - 井上 進先生 三年一組
 - 本山 嵩先生 教頭
 - 山本 茂夫先生 校長
 - 園村 静夫先生 三年主任
 - 上杉 経康先生 教務主任
- 中列右より
- ウイリアム・ロビンソン先生
 - 倉本 栄子先生 一年二組
 - 木村 由美先生 二年副担
 - 田原 正和先生 二年二組
 - 塘内 正義先生 一年一組
 - 和田 邦博先生 一年三組
 - 野崎 勝先生 講師
- 後列右より
- 高瀬 祐子先生 一年副担
 - 野崎由美子先生 庁務
 - 船崎真理子先生 二年一組
 - 門崎 隆幸先生 津南学級
 - 徳尾恵里子先生 養護
 - 松本 秀久先生 事務

津奈木町文化協会 クラブ紹介

エビネ愛好会

「春の花の香りと、自然の美しさをお届けする」との見出しで、毎年皆様に御案内してきましたエビネ愛好会は、昭和54年2月に71名で発足し、当時は全国的にエビネの美しさが再認識されて、各家庭でも庭の隅や木の蔭、或いは鉢に植えられていました。それ以前は山に入ると、幾株か見つかりましたが、今では余程の



幸運でなければ、お目にかかれせん。エビネは花の形や色、葉の芸等によって、高価で買われ、

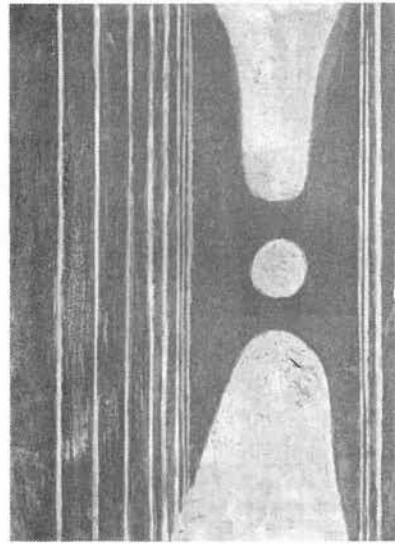
絵画クラブ

現在十三名の会員にて毎週一回

油彩

「森の道」199500

境野一之作



ぼんやりとしたこもれ陽が、道のかなたに見えている。歩いて歩いて、やっとみつけた道のむこう。静寂のなかに、わずかに語りかけてくる森のささやき。情熱の赤ではない、母の肌のぬくもりを感じさせるような柔かな赤と暖かなマチエール。静寂の赤が今ここにある。口数の少ない赤。(T)

庁舎美術館(35)



絵の勉強を中学校の宮永先生のご指導で続けています。「絵を描く楽しさは、第一に楽しんで描きなさい。そうすると段々いろいろなものを乗り越えてゆくものです。絵を描けるということとはそれだけ能力があるということ。だから最初自由に描いてみなさい」と云われて困ってしまった自分、正統な基本のむずかしさ、だが、かえって希望が湧いてきます。せいぜい自然の中や、落着いた室内で自分の絵心を白くキャンパスの上に思いをこめて描き込む時、自分

読書感想文

「がんばりやになったエリザベス」

津奈木小学校六年 新立麻美

こちよいな所は、全く同じです。そして、かんしゃくを起こす所もです。でも、エリザベスは、まもなくがって、ジョーンのために春の花のリストを作り、保健室でねているジョーンには、本を読んであげているのです。周りのみんなは、あのかんしゃくもちのエリザベスが、しんぼう強くつづけていると、感心していました。私も、今までエリザベスの行動を想像しながら読んできましたが、これほど、みんなのために頑張っているエリザベスを想像した事はありませんでした。

た。この場面を想像した時は、とても感心しました。それから、ホワイテリーフ学園の代表委員を長い間してくれたケネスが外国に行く事になりました。ケネスにかわって新しい委員になる人を選ばなければいけない時がきました。エリザベスは、だれにしたのでしょうか。私は「代表委員」と聞くと、今年自分が代表委員に立候補した事を思い出します。一生けん命がんばりましたが、落選しました。私は、エリザベスを応援しませんでした。今まで、おこりたいた気持ちをすてて、しんぼう強くみんなのた

私のアイデア料理

日当 森山 サツキ

★鯖めし

▼材料(4人分)

米カップ2杯半、鯖味付缶詰量220g、牛蒡50g、人参50g、グリーンピース30g、酒大さじ2杯、薄口しょうゆ大さじ2杯。

▼準備

①米は洗って、ざるに上げておく
②鯖の缶詰は、魚のまん中の骨をとり大きめにほぐし汁ごと使う
③牛蒡は、さがきにし水につけて、あく抜きをする。

④人参は、薄く好みの形に切る。
⑤グリーンピースは塩ゆでしておく。
▼作り方
水カップ3杯強の中に、①④⑤と、酒、薄口を入れ、軽く上下にまぜてから炊く。出来上がったらグリーンピースをちらして仕上げる。
※鯖には、動物性蛋白質が多く含まれているので、動脈硬化の予防になります。
※缶詰は、年中手軽に求められ、



右 千草サラダ
左 鯖めし

作り方が簡単で、骨がなく、老人や子どもにも喜ばれます。
★千草サラダ

▼材料(ありあわせの野菜)

キャベツ100g、キヌーリ100g、大根150g、人参50g。

▼調味料

砂糖小さじ1、酢大さじ2、みりん大さじ2、うす口大さじ2、サラダ油大さじ2。

▼作り方

野菜は、みんな細い千切りにして水につけ、パリッとさせ、水切りをし④でドレッシングを作り、かけていただきます。
※付け合わせに、栄養教室で学んだ料理を応用してみました。

短歌

宮崎 優選

朝明けの山路を踏めば落椿雨にぬれて色新しく
春しじま万作の花咲きそめぬ枝を伸ばせりすがれし庭に

野田 浦子

風糸をたぐるが如き思い出を歌詠み乍ら言葉探しぬ

制服におさげ髪して行く孫の後ろでに思う吾は老いゆく

柳迫 いづも

無人駅に一人立ちいる熊本の友は土産の陣太鼓下げ

土地訛りそのまま名の還暦の友お互いに肩を抱き合う

寺本 ツルヲ

久しかる願ひ叶えり初雛を今飾りいる孫まだおきな

淡淡し雪降る庭にたち出でてこの冬をただにしばし浴びる

西 滋子

日照雨降るかそけき庭に三又の花房揺れて雨滴光れる

境内に巨木のあいて見上ればぶりかかり来る紅梅の花

白浜 美和子

芝桜所処に花咲く満開の春をえがきて寒肥をふる

甘夏の選別なせる雨の日を時折り激しくトタンをたたく

福田 八重子

大輪の白き赤きの菊咲きて吾り読み書く部屋はかがやく

次笠

早や仕舞い。かぜ薬。一笠一句、五月末日まで、教委宛。

※皆様のご投句をお待ちしております。

障害者福祉に寄せて

津田 一馬

す。我が国はますます高齢化社会となり、長寿に併せて、懸念されるのは、身体の高齢と障害化です。互助会会員三六〇名中、一三三人(六二%)は高齢者であり、一三一人(三七%)は重度障害者です。本政策に基づいて、今後の福祉社

私は、十三年前脳出血により、半身不随の障害者となりました。この間、多くの生活状態が変り苦難の道は、障害者が平等に経験する苦しみであります。下肢の障害を自動車運転で、上肢の障害(執筆)をワープロの使用で補ないながらの不便な生活をよぎなく送っております。

六年前から町身体障害者互助会の会長に推薦され、会員三六〇名の福祉サービースに頑張つて居ります。互助会の発足は、昭和四十一年で、今年で二十五周年になります。会員の誇りとしている組織化は、身体障害者手帳保有者で加入率百%は熊本県一位となっております。また、町単位で支給されて

いる福祉年金制度は、昭和五十年に制定され、県下各市町村のトップ級であり町当局に対し、謝意を表します。活動面では、郡、県連主催の歌謡大会、スポーツ大会等で優秀な成績を挙げており、若い会員の意気高揚に貢献して居ります。この中には多くの寝たきりの人もいます。これらの福祉問題に対応して、福祉六法があり、うち身体障害者福祉法が、昭和二十四年に制定され、四十二年間を経て、本年一月一日付で現代にふさわしい新しい

会をいかに明るい、活力ある、真の「長寿を喜べる社会」を目指し、具体的には、安心して頼れる年金問題、質の高い老人医療と、保険制度の確立、身体障害者や、老人へのきめ細かな福祉サービース等、多くの障害福祉対策事業の完全参加と、実施が望まれます。

本町の主要施策の中、平成二年度 共同福祉施設が文化交流の場として完成し、町の中心地に温泉掘削が現在行われているが、福祉志向の温泉施設として、一日も早い完成が待たれ、町民願望のトップである老人福祉としての養護施設、建設計画が進行中と続く。これらの事業の完成こそ、身障者への最高の贈物となります。

つばくろの住き来のしげき玄関の軒下の巣をつくろい始めぬ
他人ごとと思つて居りし車椅子吾れ押されいる妻が押している
松葉杖どこまでゆけど松葉杖しばらくゆきてしばし止まる
「ロメオ」一人よがりの個人的事情や感想をただ三十一文字に辻褄を合せ、理屈や筋書で人に解らせようとして説明しても、考え方や事情は推測できても、詩としての余韻がなく、それはただの散で、短歌とはいえない。
肥後狂句
堀 双岳選
押しつけて、俺より先い幕の内衣替え、心配いらんお相撲さん
押しつけて、一番札つかました衣替え、替りばえせん立姿
押しつけて、春筍が面出アタ衣替え、新入社員のかたる朝衣替え、去年の羽織りはちんちくりん
万葉
衣替え、